

イノベーションクラスターフォーラムを開催しました

岩手県では、平成16年度から文部科学省の委託事業である「都市エリア産学官連携促進事業（一般型）」、更に平成19年度からは、「都市エリア産学官連携促進事業（発展型）」により、耐磨耗性・耐腐食性に優れ、ニッケルの実質無害化、磁化率を低減した「いわて発」高付加価値コバルト合金を創製し、医療機器用及び一般産業用の実用化に取り組んでまいりました。

いわて産業振興センターでは、このたび、これらの成果を継承するかたちで文部科学省補助事業である「地域イノベーションクラスタープログラム（グローバル型）」に岩手県及び釜石市が提案し、採択を受けた「いわて発」高付加価値コバルト合金によるイノベーションクラスターの形成」の中核機関となり、このプロジェクトをスタートさせました。

このプロジェクトの本格実施に伴い、先進地域の成功事例とプロジェクトの概要について皆様を紹介し、関係企業・機関を始めとする産学官の幅広い交流の一層の促進とともに、事業化に向けた連携体制構築を図ることを目的として、10月20日（水）にホテルメトロポリタン盛

岡NEWWING（盛岡市）にて、「イノベーションクラスターフォーラム」を開催いたしました。

フォーラムの冒頭では、岩手県知事や釜石市長、文部科学省並びに参画企業であり、国内の有力医療機器メーカーである日本メディカルマテリアル（株）代表取締役社長様からご挨拶をいただきました。

また、基調講演については、その事業内容について文部科学省からの評価が非常に高い長野県全域地域から事業総括の田多井俊夫様を招へいし、「信州スマートデバイスクラスターにおける取組み」と題して同地域の「ナノ材料及びその使用法の高度化という研究開発シーズをベースにした、材料開発から製品化・事業化へ扇状に広がるものづくりに根ざした取組み」をご講演いただきました。材料開発から製品化・事業化への展開という点で、当地域の取組みとの近似性も高く、今後の取組みの参考となりました。

基調講演



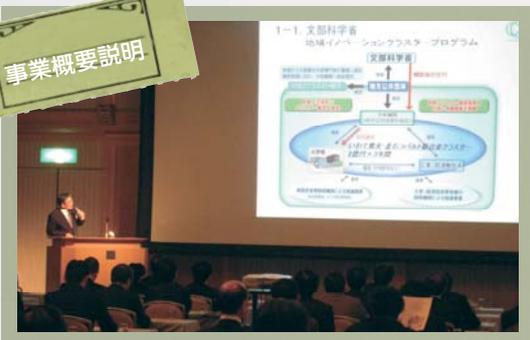
後半では、本地域での今後の平成24年度までの取組みの概要について、「事業概要」は、事業総括である藤枝賢之助から、「研究概要」は、研究統括である東北大学金属材料研究所の千葉晶彦教授から説明されました。

研究概要説明



当日は、これら講演等のほか、これまでの事業の成果を中心としたパネルや試作品の展示も行いました。産業界、大学関係者、行政関係者等計114名の参加を得ることができ、今後のコバルト合金プロジェクトの発展につながる活発な意見交換がなされたことから、本フォーラム開催の目的が果たされたものと考えております。

事業概要説明



事業概要の説明においては、事業推進体制や具体的な取組みとともに「全ての研究開発テーマにつき、このプロジェクト推進期間内で事業化または事業化の方向付けを行う」といった、本プロジェクト推進の基本的な考え方が話され、研究概要の説明においては、医療用展開5テーマ、一般産業用展開5テーマ計10テーマからなる研究開発テーマの概要とともに「いわて発世界初のオリジナルの長寿命人工股関節の開発」の基盤となる理論や技術等が話されました。

ポスター展示



研究開発テーマ

テーマ名	医療用製品への展開	一般産業用製品への展開
サブ テーマ名	いわて発世界初の長寿命人工関節開発 インテリジェント鍛造法のコンセプトに 基づくコバルト合金線材加工技術の開発 歯科用製品の開発 カスタムフィット医療機器の開発 規格化のためのコバルト合金の 生体適合性評価	耐腐食摩耗型・モールド系製品の開発 塑性加工性能と高温強度に優れる コバルト合金の開発 アルミニウムダイカスト用高耐熱疲労 強度コバルト合金の開発 高疲労強度高耐食性・高弾性率コバルト 合金の開発 リサイクル技術の開発